

市政ニュース

昭和48年1月1日 295号
毎月1日・15日発行 一部4円
発行所 五所川原市役所



山川の

起き伏し冴ゆる

牛の年

年明くる

大地は牛の

静けさに

千空

市民の皆さま明けましておめでとうございます。今年もまた、皆さま方の市政参加によって暮しよい町づくりに励みたいと存じます。

水は低きに流れ、人は高きに集まるともいいます。地域の持つ経済的な力がそこに住む人々に十分な暮らしを保証できない限り、余分な人々はそこから豊かな暮らしのできるどころへ移動するのは理の当然であります。その趨勢に任せることは原始社会のすることであり、美しい自然の保全に努めるとともに、そこに住む人々にも豊かな暮らし、生活の場を築いてやること、ごんち政治行政に課せられた一大使命であり、社会の共同責任でもあります。つまり在来既存の考えから脱皮して、それぞれの地域の開発可能性を探求し、その実現に努めることであ

公害のない内 陸型工業開発

五所川原市も、農村工業化、工業再配置といった時代の要請に対応し、農村地域内陸工業開発のビジョンづくりを進めて参りましたが、このほどその案がまとまりましたので、今年度はそれを積極的に推進する考案であります。公害も人間

新しい年

を迎えて

五所川原市長 佐々木栄造

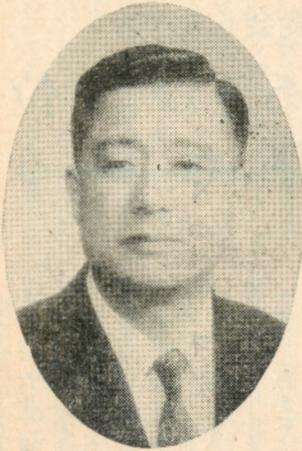
が造り出したものである以上、人間の知恵によって除去するということが可能というのではないと思いますが、五所川原市の場合には公害のない知識集約型工業

の展開を目標といたしております。

何も工業導入を以って総べてとするわけではありませんが、農村がすなわち農家の集団であるという時代は過去のものとなりつつあります。同じ村に、否一軒の家にすら農業を営む人と工場に勤める人が居たとしても少しもおかしくない時代が到来したということでもあります。つまり、人には

開発の可能 性を発掘

地域社会の高度化は、多範にわたる行政ニードの実現を必要としますが、その多極化する行政ニードに際して新しい開発の可能性を発掘し、推進していく必要があります。そこで、広く高い視野から五所川原市の将来を展望し、豊かで楽しい郷土を築くために、五所川原市総合開発基本計画の策定を弘前大学に委託してありますが、このレポートも三月にはまとまることになっております。



佐々木市長

緑と小鳥の まちづくり

先にも述べたように、工業の開発だけが開発ではありません。市農業の構造改善を軸とした高生産性農業への取り組みが、ひいては市の工業開発の糸口につながるという認識に立ってのことです。また市民

いづれにしましても、これらの施策を積極的に推進していくためには、五万市民の勇気と決断がその要めとなります。市民皆さま方の一層の行政参加によって果されるものであります。が津軽の青年都市五所川原の建設がその願目であり、以上まことに簡単であります。所感の一端を申しあげ年頭にあたってのごあいさつといたします。

函館の試食会 「むつあさひ」1位 に評価される

市では、消費者に好かれる五所川原米々をPRするため十一月二十一日、函館市で新米の試食会を開きました。青森県の準奨励品種である「むつあさひ」が一位に評価されました。

試食された品種は「むつあさひ」(毘沙門産)のほか銘柄品種の「ムツニシギ」(持子沢産)、県奨励品種の「レイメイ」(水野尾産)の三品種で、それぞれ外観、香り、味、粘り、硬さについて十一段階に分け採点してもらいました。その結果、「むつあさひ」が試食された二十八人中二十二人が「良」と答え、



県外で初めての試食会

ほかに五人が不良、ひとり(普通)六十二点とをもって高く評価されました。「良」と答えた二十二人のうち五段階の3に当たる「かなり良い」と評価したものが十一人もあります。次いで「レイメイ」が二十八人中二十一人が「良」と答え(ほかにふたりが不良、五人が普通)五十六点、二位「ムツニシギ」は「良」二十二人、「不良」ふたり、普通四人で五十二点と三位に評価されています。

1日平均442人

市の来庁者調べ

市の本庁玄関受付では十一月十三日から十八日まで一週間にわたる本庁の来訪者調べをまとめました。それによると本庁を訪れる人は木曜日が最も多く、毎日半数以上の人が午前中に用事を済ませている、という結果ができました。この間、本庁を訪れた人は全部で二千六百五十一人(男一、六九〇人、女九六一人)で一日平均四百四十二人(男二八一人、女一六一人)となり、曜日ごと内訳では木曜日が一番多く六百三十二人で次いで月曜日の五百二人、水曜日の四百二十二人の順になっています。

来庁者の時間帯をみると十時から十一時までの間が一番多く、次いで九時～十時、十一時～十二時の順になっていますが、このように午前中に訪れる人が全体の六二割をしめ、とくに女の場合は窓口の始まりと終りの時間を利用する割合が少ないことがめだっています。

水抜栓の操作は左 右いっぱい廻す

窓口を利用される皆さんは、混雑どきをさけるのも上手な窓口の利用法かと思えます。

寒波による水道の破裂などを防ぐため水抜せんを装置している家庭が多くなっておりますが、操作について誤まった知識のため水が流し放しになってメーターが上り、多額の使用料金が告知されている家庭がみられますので、次のことがらに注意してください。

家庭内の水を止めてしまいう時は、水抜せんを右へいっぱい廻し反対に水を通す時は左へいっぱい廻してください。右、左へいっぱい廻しませんと、水抜せんのところから水が凍ることにあります。

償却資産の申告は31日まで

市税務課では償却資産(事業用の機械など)の申告を受け付けております。償却資産の所有者は一月三十一日まで申告してください。申告を怠りますと必要な控除などが受けられず、納税者が不利な取り扱いをうけることとなりますので必ず期日までに申告をお願いします。

巡回「心配ごと相談所」開く

市の「心配ごと相談所」は、毎週水曜日本庁に開設し老人、母子家庭、児童問題などそのほかあらゆる心配ごととの相談に応じており

お茶の間からの提言



△おたすね
上水道の水が汚染されているは大変です。検査など十分行なわれているのでし

△おこたえ
配水管の取替、切替工事の期間中は断水や水圧の低下が生じ、また工事のあと水のにごりや汚れが工事箇所付近に発生してめいわくをかけております。上水道の水質検査ですが、毎月鎌

ようか。また水圧が低いようですが。

問題のいかんにかかわらずお気軽にご利用ください
▽一月二十三日(火)
七和、長橋、梅沢支所
▽一月二十四日(水)

飯詰、松島、栄支所

▽一月二十五日(木)
中川、三好、毘沙門支所、市福祉事務所
時間は、いずれも午前十時から午後三時までです。

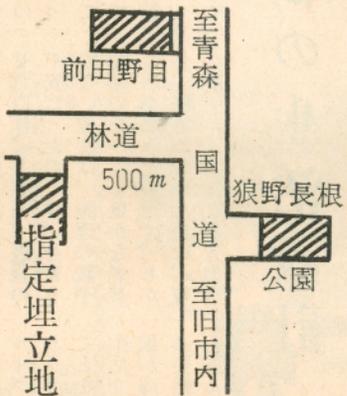
谷町、新宮町、尻無の三カ所から配水採取し五所川原保健所に試験検査を依頼しております。水質基準に適合している、との判定が出ています。断水などはさけるよう務めておりますが発生した場合は早急に水道課にご連絡くださるようお願いいたします。

大量のゴミは 指定埋立地へ

事業所の協力を

ゴミの収集にあたって、まだ燃えないもの燃えるものの区別が一部で守られておらずゴミ処理上困っておりますのでみなさんのご協力をお願いします。

▽水気のあるものは、必ず水を切って袋詰めしてください▽収集日の前日から出すと犬や猫があさったり、雪に濡れ不衛生ですので、収集日を守ってください▽燃えるもの、燃えないものは必ず分けてそれぞれ指定日に出してください



い▽河川敷地、湖沼、用水堰、まちはずれ、公園などにゴミを捨てると罰せられます

れることとなりますので、十分注意してください▽環境衛生保持のため、下水、側溝については町内ぐるみの清掃をお願いします▽大量にゴミを排出する事業所では燃えるものは高瀬焼却場、燃えないものは指定埋立地へそれぞれ運んでもらいます

市政ダイアル

その日の
行事や予定は

でんわ⑤4321

今春中学校卒業の方へ

自衛隊生徒募集

資格 満十五歳～十七歳未満で、今春中卒見込みの者、または中卒以上の者
給料 初任給三四、一〇〇円(賞与年三回、衣食住無料、実質額約五五、〇〇〇円)
特典 勤務しながら高校卒の資格が取得できます。
防衛大学、幹部候補生の道が開かれています。専門的な技術が習得できます。
詳しくは市窓口サービス課(電話⑤二二一一番) または自衛隊五所川原募集事務所(電話⑤二二〇五番)へおたずねください。

児童手当の対象がひろがります

— ことし4月1日から —

児童手当支給制度は昨年一月から発足しておりますが、ことし四月一日からは支給の対象となる児童の範囲が現在よりひろげられます。現在児童手当の支給を受けるためのには次の二つの要件にあてはまっていることが必要です。

(1) 養育要件、十八歳未満の児童を三人以上養育しており、そのうちひとり以上が昭和四十二年一月二日(満五歳未満)以後に生まれていること。

(2) 所得要件、児童手当の支給を受けようとする人の昭和四十六年の収入が一定の額(扶養親族が五人の場合、二百三十三万円)に満たないこと、などです。ところで、ことし四月一日から(1)の「養育要件」のなかの「昭和四十二年一月二日以後に生まれていること」が「昭和三十八年四月二日(満一〇歳)以後に生ま

れていること」にひろがります。

例えば(1)児童が十六歳、十歳、七歳の三人いる家庭の場合現在は、五歳未満の児童がいないので、児童手当の支給が受けられません。が、四月一日からは、七歳の児童が支給の対象となり月額三千円の児童手当が受けられます。

また(2)児童が十六歳、十歳、七歳、四歳の四人いる家庭の場合、現在は、四歳の児童が支給の対象となり月額三千円の児童手当が支給されていますが、四月一日からは、七歳と四歳の

ふたりの児童が対象となり月額六千円の児童手当が受けられます。

受給手続きは

児童手当制度は、いくら児童手当の支給を受ける資格があっても、一定の手続きをしないと、支給を受けることができません。現に、児童手当の支給を受けている者が、支給の対象範囲の拡大に伴い、

(1) 算定基礎児童数が増加となり、児童手当の額が改定される者
(2) 新たに児童手当の支給要件に該当する者は、市町村長の認定または改定の請求を行なう必要がありますので、ことし二月一日から三月三十一日までの間に印鑑と被保険者証を持参のうえ市福祉事務所に届出してください。

もし、この請求が、四月一日以後に行なわれたときは、請求した日の属する月の翌月から、支給されることとなりますので、該当する方々がひとりもれなく児童手当を受けられるよう、お知らせします。

心の花だより

津軽ではユズリハを正月の飾り物として用いられていますので、心の中に残っている植物のひとつです。

和名々譲り葉々は、新しい葉がすっかり成葉になってから古い葉が黄落していくところから名付けられたものです。つまり、親がひとり立ちした子どもに座を

ゆずっていく様であるというところから由来したものです。

ユズリハ

(トウダイグサ科)
ユズリハは植物分類学上ではエゾユズリハという種類で北海道と東北地方に分布しているものです。

植物学上のユズリハは、

北海道や青森県では全く見ることができません。

ユズリハは樹高十呎にもおよびますが、エゾユズリハは一呎ぐらいの低木です。ので、全く感じの異ったものです。五所川原市ではボンジュ山系へ足を運べばたくさん見ることが出来ます。雌雄異株の常緑樹でもあります。

◇ ◇

／横井さんが住んでいた！

グアム島旅行へ

私たちが巡回したうちの川村長吉さん（長橋字橋元一六〇二）は、農業を営んで五十年国民年金の掛金（十年年金）をすでに終え市内では、その受給資格者の第一号です。

昨年六万円、ことし六万円のあわせて十二万円をいただいております、たくましい顔をほころばせ「ご苦労さん」といってくれるその健康な姿が私たち巡回班に印象づけられました。

「あなたは、この受給金で生活のささえになりますか」

「長男と相談した結果、中川農協で計画している海外旅行に積立しています。」

「海外とはどこですか」

「おかげさまで、この年金を元金にして、健康なう

「当時の国民年金加入のすずめについてどう思いましたか」

「あのころは、年金をかけているうちあの世へいくにちがいない。だからかけてもムダだ、と思っていました。しかししきりになつて、保険金を納めたかいがあって、夢にもみたことのないグアム島へ行けるなんて……」と喜んでいました。

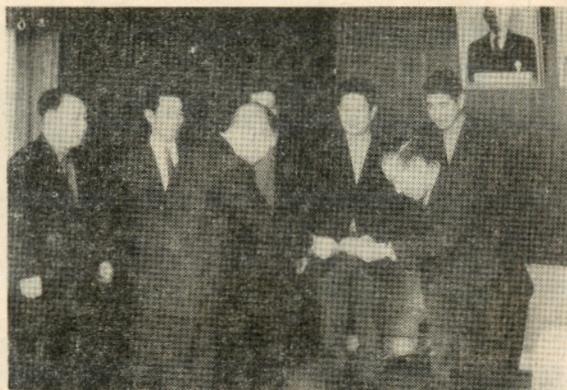
国民年金巡回班から

「あ、あなた、この受給金で生活のささえになりますか」

「長男と相談した結果、中川農協で計画している海外旅行に積立しています。」

「海外とはどこですか」

「おかげさまで、この年金を元金にして、健康なう



小山教育長（左）に目録を手渡す成田社会奉仕委員長

教育振興会に15万円寄付

五所川原ロータリークラブ（神幸一會長）は十二月十四日「五所川原市教育振興会」に十五万七千七百四十一円を寄付しました。

同クラブは十二月十三日恒例のチャリ

豊かな老後を

「自分の老後の生活を真剣に考えるようになったのは、友人Nさんの死がきっかけでした。会社に勤めていたNさんは三十六歳までひとり暮らしの自由な生活を満喫していたものです。

そのNさんが突然結婚にふみきったのは二年前のこととで、相手は十五歳を頭にした三人の男の子がある五十五歳の方で、後妻として嫁いでいったのです。

「これで、私の老後も安泰よ、そりゃあ、子どもとは血のつながりはないけどいっしょに暮らしていればお互い、情が湧いてくるものよ。誰れか、ひとりぐら

私の生活設計

は、年離れた私のめんどろをみてくれるわよ。」

Nさんを結婚にふみきらせたのは、まさしく老後の不安だったのです。身寄りのない彼女は、義理の親子関係のなかに豊かな老後生活を夢みしたのです。しかし、相手の求めたのは、彼女のサラリーと家事労力だ

は、年離れた私のめんどろをみてくれるわよ。」

Nさんを結婚にふみきらせたのは、まさしく老後の不安だったのです。身寄りのない彼女は、義理の親子関係のなかに豊かな老後生活を夢みしたのです。しかし、相手の求めたのは、彼女のサラリーと家事労力だったのです。Nさんは、職業と家庭の両立にあえぎ、みるみるうちヤセ衰えていききました。家事のさなか急死したのは、それから一年後のこととす。

それにしても、老後設計のためNさんは、なんと高い代償を支払わねばならな

生活環境パトロール本部

住みよい 環境づくりに

でんわ⑤1414

横断旗贈る 簡保連

五所川原郵便局の簡易保険加入団体連合会（佐藤喜丈会長）は、このほど市に交通安全指導者用の横断旗二十旗を贈りました。

当連合会は、簡易保険の成績がよく四十七奨励年度で郵政局長賞を受けており、そのお礼に贈ったもので、市ではみどりのおばさんなどに利用してもらい交通事故防止に役立てます。

歳末たすけあいに 寄金

民謡、手踊りの愛好団体である市内湊のちどり舞踊会（佐々木伸雄会長、会員十五人）は、十二月十七日行なった歳末たすけあい芸能祭の純益金十二万四千九百二十四円を歳末たすけあいに役立ててください、と市福祉事務所に贈りました。

同会は毎年歳末たすけあい運動に芸能祭を開いており、ことして六回目になります。